

昼間時間帯に出場する救急隊の運用を開始 ～『日勤救急』が昼間の命を守ります～

1 目的

本市では、この10年で年間の救急出場件数が約3,000件増加し、昨年は過去最多の16,573件（1日平均45件以上）を記録しました。全国的にも広がる救急需要の増加に対応するため、本市では本年4月から「日勤救急」を導入しました。

この取り組みは、救急要請の約6割が集中する昼間時間帯に救急隊を増強するもので、救急要請が重なった場合でも現場到着時間の遅延を回避し、市民の命を救うための即応体制を強化することができます。あわせて、夜間勤務が難しい育児中や定年延長の職員など、ライフステージの変化を迎えた職員が、救急隊員として働くことができる職場環境を整備することで、ワークライフバランスと救急活動の質の向上という相乗効果を生み出し、春日井市民の安全・安心な暮らしを守り抜くために運用を開始したものです。



2 概要

- (1) 配置先 消防署
- (2) 運用 平日の午前8時30分～午後5時15分
- (3) 人員 救急救命士4名（定年延長者、育児休暇明け職員含む）
- (4) 台数 市全体で9台分→10台分となり、きめ細やかな運用ができるとともに、1台あたりの出場件数を減らすことができます。
※1台につき、原則3名で出場。

3 出場実績（日勤救急の出場件数／昼間時間帯の総出場件数）

- 4月 65件／467件
5月 49件／369件

4 展望

本事業は、単なる救急隊の増強にとどまるものではありません。まずは今回導入した平日昼間時間帯の運用を足がかりに、救急需要をより詳細に分析し、固定的な配置に縛られない『機動的かつ柔軟な運用体制』の構築など市内のどこから要請があっても即座に対応できる、強靱な救急体制の実現を目指します。また、市民の皆様にとってより身近で愛着の持てる存在となるよう、現在『日勤救急』の愛称募集を計画しております。